



連町通信

安全で安心して暮らせるまちづくりをめざして

発行
釧路市連合町内会

☎085-8505 釧路市黒金町7丁目5番地
釧路市役所内
電話 0154-23-5151
内線 6716
直通電話・Fax 0154-23-2101

謹賀新年



新年にあたって

釧路市連合町内会

会長 黒木 満

新年明けましておめでとうございます。
皆様には、令和二年の新春を晴れ晴れしい気持ちでお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日ごろから「安全で安心な住みよいまちづくり」に励む町内会活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
昨年五月に、西村毅氏の後任として会長になって、早七ヶ月が過ぎました。この間、七人の副会長と役割を分担しつつ、町内会活動の下支えとなるように各種事業の組み立てを考えるとともに、審議会や委員会でも町内会代表としての意見を発言するなど、西村前会長には及ばぬまでも精一杯努めてきました。

そして地元町内会活動の経験から、連町事業の運営の原点に置いた「楽しくない事業に無理強いして誘っても、集まらないし、次回の企画につながらないので、自らが『楽しい』と思える事業づくり、みんなが『参加したい』と思える事業づくりを目指そう」という方針をこれからも大切にしたいと思えます。

少子高齢化、町内会役員の後継者不足、価値観の多様ななど町内会活動を進める上での課題が沢山あることを承知しておりますが、新しい年にこの壁を乗り越え、「町内会活動は楽しい」と感じていただけるように連合町内会の運営を進めて参りたいと存じております。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、この一年が皆様にとって平和で穏やかな年でありますように、そして町内会活動が楽しいものだど広く市民に浸透することを祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。

＝ 青少年健全育成大会 ＝ 大会テーマ「強く、優しく、たくましく生きる子どもの育成」

令和元年度青少年健全育成大会が11月24日（日）生涯学習センターで開催され、町内会関係者の他にも、保護司、民生委員児童委員、特別補導員そして小中学校の校長先生など159人の参加がありました。大会は、黒木市連町会長、蝦名市長、中村釧路警察署長の挨拶で始まり、釧路市教育委員会岡部教育長の講演、そして中学生4人の意見発表と続き、釧路地区保護司会後藤会長の閉会の挨拶で終わりました。全市をあげて青少年の健全育成に対する思いを強くしたところでした。

演題 「『生きる力』を育むために」



岡部教育長

岡部教育長は「『生きる力』を育むために」と題し、まず日本の子ども達の将来像を3つ紹介しました。一つは、65%が大学を卒業後に今は存在しない職業に就くというものです。現

在でも中高生の目指す職業に「ユーチューバー」があるが、職業として認められて10年であり、こうした新しい職業が大勢を占めることになるというものです。二つ目は10年から20年で約47%の仕事が自動化されるというもの、そして

三つ目は2030年までには週に15時間程度働けば済むようになる。つまり今の子ども達は人口が減少し、高齢化が加速する中で仕事は自動化していくという極めて先行きが不透明な混んとした社会、誰も答えを知らない社会で、自分の力で生きていかなければならないのだ、と指摘されました。その上で、学校教育では①授業力の向上、②小中連携、③家庭学習の確立が求められ、都会の学校を選んだ子ども達が地域に戻ってくるように地域と連携したまちづくりを進めていかななくてはならないと話されました。

次に6月に行われた「少年の主張 釧路市大会」で最優秀賞、優秀賞に輝いた中学生4人にその主張を述べてもらいました。

最初に北中学校2年の及川和香奈さんが「本当の気持ち」と題し、認知症を患った祖母の「分からなくなることが怖い」という気持ちを知り、祖母を大切に、一日一日を家族全員が笑顔で過ごしていけるように祖母との関わり方を考えていかなければならないと発表しました。



及川さん

次に鳥取中学校3年の藤嶋夕舞さんは「言葉」と題し、自分の自信をなくす「言葉」の恐ろしさを感じたこと、その一方で自分を助けてくれたのが仲間からの「言葉」だったことから、困難を乗り越えようという人が自分の周りにいたときに、人を励ます魔法の「言葉」をかけてあげる存在になりたいと語りました。



藤嶋さん



永谷さん

次に武修館中学校3年の永谷響乙さんは「笑顔の食卓」と題し、食べ残しや売れ残り食品の廃棄など先進国で食品の大量廃棄が問題となっているなか、途上国では深刻な貧困問題に直面

しているので、この問題に正面から向き合い、国民一丸となって解決の希望を世界に示すべきだと主張しました。

次に美原中学校3年の平田花奈さんは「ありがとう」と題し、「ありがとう」は「あなたの存在は『滅多にないこと』つまり、ありがたいことだ」という意味が込められているので、日本語の中で一番美しい言葉だと思う。「ありがとう」は相手のことも自分のことも、そして周りの人をも幸せにする美しい言葉であることを伝えていこうと考えています、と発表しました。



平田さん

ドクター磯部の

処方箋



釧路労災病院
脳神経外科部長
磯部正則

加齢とともに増える病氣、脳梗塞を考えております。前回まで、脳梗塞の多くは、脳の血管自体が、動脈硬化などで細くなり詰まるアテローム血栓タイプで、なかなか治せないのが、予防が大事。脳に気をつけるのではなく、体の健康に気をつける、でした。

今回は、脳梗塞のもう一つのタイプの話です。脳の血管自体は細くないのに、心臓から血栓が飛んできて、詰まる脳塞栓症です。これは大きな、重症の脳梗塞になりやすく、心房細動(Af)という不整脈が原因のことが多いものです。Afは加齢で増えるようです。Afという不整脈は心臓にはあまり悪くないことが多く、一方その治療は大変なので、神経質に治療しないのですが、唯一脳塞栓症の原因であることが問題です。

対策はあって、特別な血液サラサラ薬を飲むことです。最近では毎回のよう採血をしなくて良くて納豆も食べてよい新しい薬がありますので、Afがある方は脳梗塞になる前に服薬することをお勧めします。動悸(脈が速い)脈が飛ぶ方は、脳外科か内科(心臓血管・循環器)に相談して下さい。

次は、認知症の話です。この病氣も二つのタイプがあります。アルツハイマー型認知症などの、画像検査ではあまり異常がなく残念ながらあまり治らないものと、画像で異常がありそれを治せば認知症(状)が治るものです。

新コーナーのご紹介

町内会活動の一番の基本は町内会会員皆さんの健康です。前号、前々号の2回にわたって「今日・明日」のコラム欄に釧路労災病院磯部医師の寄稿を掲載したところ、「読みやすい」と好評であり、磯部医師からも継続して寄稿いただけることになりましたので、連町通信に新たなコーナー「ドクター磯部の処方箋」を設けることとしました。また、寄稿に限らず、町内会に出向いて講演も行っていただけるというお話もいただきましたので、ご希望がありましたらまず連町事務局にお問い合わせください。(広報部)

～町内会活動を通じて安心して暮らせるまちづくりを！～

わが街この街
シリーズ 87

鶴野東かがやき町内会 長 山 勝

私たちの「鶴野東かがやき町内会」は、子育て世代が多く、子ども達の笑い声が絶えない活気溢れる町内会です。町内会設立のきっかけは、街路灯の整備でした。子ども達が多い地域にも関わらず街路灯がなく夜になると真っ暗でとても歩ける状況ではありませんでしたが、初年度に街路灯40基を整備したことで夜でも安全に歩けるようになりました。ちなみに、街路灯のかがやく明かりから「鶴野東かがやき町内会」と命名しました。

平成27年10月の設立から4年ほどですが、設立2年目からは鶴野東2号公園を使って夏休みにはラジオ体操、秋にはバーベキューを囲んで親睦会を開催しております。

また、3年目には70歳以上の会員に長寿を祝して敬老祝品の贈呈を行事化したことで、子どもから高齢者まで幅広く町内会の存在を感じてもらえるような活動となりました。今年には街路灯3基を増設したほか、2月には新年会を予定しています。

これからも町内会活動を通じて、会員相互の親



家族参加が多かったバーベキュー

睦を深め、地域ぐるみで見守り合える町づくりを目指していきたいと思っております。

- 1. 元気で働き、明るく豊かなまちをつくりましょう。
- 1. きまりを守り、安全で安心な住みよいまちをつくりましょう。
- 1. 緑を育て、自然豊かなきれいなまちをつくりましょう。

- 1. 人にやさしく、心ふれあう温かいまちをつくりましょう。
- 1. 文化を高め、命を尊ぶ平和なまちをつくりましょう。
- 1. 郷土を愛し、世界に誇れるまちをつくりましょう。

みんなで作ろう ゴミのないまち きれいなふるさと

女性部「料理教室」報告

11月26日(火)に交流プラザさいわいで「料理教室」が行われました。挑戦したのは、「鯨なべ」「ヒメマスチリソース」でした。



各町内会でも料理教室を楽しく開催してみませんか？

第6回 理事会報告

第6回理事会が12月5日(木)に開催されました。協議事項は次のとおりです。

【報告事項】青少年健全育成大会、女性部「料理教室」が報告されました。

【協議・連絡事項】防災講演会(1/12)、新年交礼会(1/17)、子どもかるた大会(3/1)及び令和2年度事業、などについて予定確認と方向性の意見交換をしました。

春の一斉清掃は4月19日(日)!

春の一斉清掃日を4月19日(日)に予定しています。町内会の新年度行事予定表に、是非この日を入れてください。ゴミ袋の地区連配布は2月下旬から3月上旬の予定です。

防災ワンデー「釧路防災講演会2020」

防災ワンデーは、平成5年に発生した釧路沖地震の恐ろしさや被害などを風化させないため講演会を開催しています。

2020年も“防災小説”というキーワードをもって次の日程で行われます。

- ◇日時：令和2年1月12日(日)13:00～
- ◇会場：観光国際交流センター(参加無料)
- ◇講師：大木聖子氏(慶応義塾大学准教授)
- ◇防災落語：三遊亭京楽氏(円楽一門会)

市連町新年交礼会のご案内

- ◇日時：令和2年1月17日(金)18:00～
- ◇会場：釧路センチュリーキャッスルホテル
- ◇会費：4,000円

今日・明日

新年明けましておめでとうございます。連合町内会の皆さまには日頃より大変お世話になっております。

トセンターと事務局を置いています。近年保護司のなり手が少ないことが危惧されています。是非、候補者の推薦をお願い致します。保護司は法務大臣から委嘱を受けた非常勤の

観察が主な役割です。過ちを繰り返さないためには就労や教育、生活等地域の一員として受入れる社会の理解と温もりも必要です。誰も取り残さない明るい社会、犯罪のない安心安全な社会づくりを目指す啓発も保護司の大事な活動です。釧路地区保護司会は令和二年創立七〇周年を迎えます。歴史ある活動の一員としてこの後も地道に自己研鑽に励み、地域の皆さまと共に歩んで参りたいと願っております。どうぞ宜しくお願い致します。

「地域で支え合う」

釧路地区保護司会 会長 後藤 哲子

感謝申し上げます。釧路地区保護司会は釧路市・釧路町・白糠町・鶴居村と四市町村で構成し十六分区一四八名の保護司が在籍しています。現在欠員四四名と定数を割っている状況です。MOO2階に更生保護の拠点としてサポート

国家公務員であり民間ボランティアです。犯罪(非行)をした人も、仮釈放や刑の一部執行猶予で社会に戻ってきます。立ち直りを地域で一定期間、保護観察官と共に支える保護

る活動の一員としてこの後も地道に自己研鑽に励み、地域の皆さまと共に歩んで参りたいと願っております。どうぞ宜しくお願い致します。

主な行事予定

- 1月30日～2月6日 三役会、各部会
- 2月13日(木) 地区連会長懇談会
- 3月1日(日) 子どもかるた大会
- ※次回の連町通信は、3月25日発行です。

赤い羽根共同募金

連町通信は、赤い羽根共同募金の支援を受けて発行しています。